

第68回山梨県高等学校陸上競技新人大会

新型コロナウイルス感染症拡大防止・観戦マニュアル

山梨県高体連陸上競技専門部

【1】 大会を実施するにあたっての感染症対策

- ① 3密を回避する配慮を徹底して行う。
- ② 競技者、関係者の自覚（自ら自分の身を守り、他人に感染させない）を促す指導をする。
- ③ 新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドラインと施設利用に関するガイドラインを遵守する。
- ④ 消毒液の取扱いについては取扱責任者をおき、チェックリストを用いての確認を徹底する。

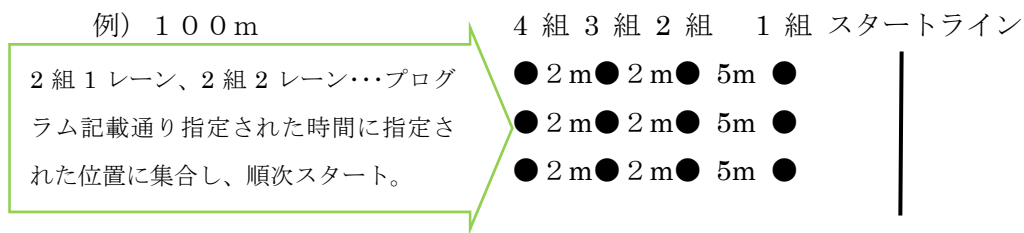
【2】 具体的な対策

- ① 大会への移動方法について
 - ・交通手段については感染リスクの少ない方法での現地集合をお願いする。
- ② 各場所の集合形態について
 - ・「ソーシャルディスタンス」「マスク着用」「手指消毒、手洗い」の徹底をする。
- ③ 健康チェック・参加要件について
 - ・大会当日までの『体調管理チェックシート（兼参加承諾書）』（以下、チェックシートと表記する）を生徒本人・家庭の責任のもと作成し、本人が健康であることを確認した上で、保護者に参加の承諾をもらうこと。
 - ・体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）は団体責任者に報告し、大会への参加は自粛すること。
 - ・当日朝、大会参加前の受付時にチェックシートを提出する。競技に参加する選手だけでなく、マネージャーや競技に参加しない者についても提出しなければならない。
 - ・当日の検温欄に記載がない者は、顧問の責任において体温を測定し、参加の可否を判断する。
 - ・試合後も来場した関係者すべてが健康チェックを続け、2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は各団体責任者に連絡すること。団体責任者は濃厚接触者の有無等について専門部委員長に報告し、該当者のチェックシートを回収・提出し、その後の指示を仰ぐこと。
 - ・新型コロナウイルス感染症が疑われる場合、「新型コロナウイルス感染症発生時の大会参加ガイドライン（オミクロン株）Revise - 2.0（令和4年8月12日）」に基づき、対応を検討する。
- ④ IDカード（以下、IDと表記する）について
 - ・IDは、チェックシートを提出した生徒、保護者、学校関係者に配付する。
 - ・観客席や補助競技場、招集所等に入場するにはIDの提示をしなくてはならない。
- ⑤ 選手の動線について
 - ・競技場への出入りについては、招集所からの入場、100mスタート後方ゲートからの退場

という流れで行う。トラックレースのゴール後はそのまま競技場を左回りに歩き、各種目のスタート地点まで戻る。この間、他の選手との距離を1m～2m空けて歩き、会話や握手・ハイタッチ等は禁止とする。

⑥ 招集の方法について (プログラム記載の競技注意事項を確認すること)

- ・選手の密集を避けるため、トラック競技の招集所は100mスタート地点付近の器具庫の外(競技場外)に設ける。また、フィールド競技の招集は、全て現地で行う。
- ・招集時刻についても必ず確認すること。密を避けるため、招集時刻の5分以上前に来ることは禁止とする。



- ・競技者係は出発係と連携し、選手のDNS等を逐一連絡する。
- ・フィールド種目の待機場所では1.5m間隔で指定場所を作成する。

⑦ 服装等について

- ・マスクを持参すること(選手が競技時は外してよいが、待機中は着用すること)。
- ・審判員は、ビニール手袋・軍手の使用も推奨する。

⑧ 各学校の対策について

- ・各学校でテントやシートでベンチを作る場合は、平素よりもスペースを広めに取ることと、ベンチ内で密集しないよう徹底する。また、そのことを係員が巡回指導を行って徹底する。
- ・大会中、仲間との握手やハイタッチ、ハグ等の行為がないよう事前に各学校で指導を行う。
- ・飲食については、周囲の人となるべく距離をとって対面を避け、会話は控えめにすること。
- ・当日出たゴミについては各学校で責任を持って持ち帰ること。
- ・こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- ・手洗い等でのタオルの共用は厳禁とする。
- ・ミーティングにおいても、3密を避けること。

⑨ 観客席について

- ・今大会は有観客とするが、チェックシートを提出し、IDの提示がなければ入場できない。
- ・メインスタンド及びバックスタンド、サイドスタンドへの立ち入りも許可するが、感染予防に努めなくてはならない。
- ・**大声を出しての応援は禁止とする。**
- ・係員が巡回し、観戦者が密集することがないよう徹底する。

⑩ 補助競技場・更衣室の使用について

- ・補助競技場は ID を持った選手・指導者のみ入場可とし、付き添い生徒等も入場できない。
- ・集団でのウォーミングアップや練習等は禁止とし、個別に距離を保って活動を行う。
- ・更衣室には係員をつけ、最大 15 名定員で更衣が終了次第すぐに退出を促す。

⑪ 消毒の励行について

- ・玄関、各ゲート等の出入口と必要な競技場所に消毒液を設置し、選手・競技役員・関係者の消毒を促す。競技前後の動線を示し、密を回避する。
- ・共用の器具に触れる種目では競技前に手を消毒し、競技後にも手を消毒するという方法を取る。

例) 100m : スタート前に手を消毒→スタブロに触れる→ゴール後に手を消毒
砲丸投 : 投擲前に手を消毒→砲丸を投げる→1投投げる毎に手を消毒

⑫ 開閉会式について

- ・開会式および閉会式については簡略化し短時間で実施することとする。
- ・各校男女別に5名までの参加とする。

⑬ 競技運営について

- ・時間短縮のため、決勝のみレーン紹介を行う。フィールド種目のトップ8紹介は実施しない。
- ・今大会の各種目表彰式は実施する予定である。感染状況によってはこの限りではない。
- ・番組編成は掲示するが、記録の発表は掲示板なしの方法で運営する。

⑭ 救急・救護体制について

- ・大会中、救護室に医療関係者が常駐する。
- ・医療関係者の指示の下、救護室の他に隔離室を設け、環境を整備する。
- ・近隣の医療機関と連携し、必要な場合はすぐに搬送できるようにする。

⑮ 撮影制限について

- ・高体連の指導のもと、大会中の撮影について制限をかける。プログラム掲載ページを参照すること。なお、人数は各学校2名までとし、T I Cにて『撮影許可証』を預かり、常に提示できる者のみ撮影を許可する。使用後はT I Cに返却すること。
- ・『撮影許可証』を携帯している場合に限り撮影を許可するが、特定の場所では撮影行為はできない。

⑯ 報道関係について

- ・報道関係者についてもチェックシートの提出を義務付け、事後の健康チェックも継続する。4日以上症状が続く場合は山梨県高体連陸上競技専門部に連絡する。
- ・各社の人数については事前に相談する。
- ・T I Cにて撮影許可申請を行い、報道用ビブスを常に提示すること。使用後は返却すること。